

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 9 月 5 日(2023.9.5)

【公開番号】特開 2022-44034(P2022-44034A)
【公開日】令和 4 年 3 月 16 日(2022.3.16)
【年通号数】公開公報(特許)2022-047
【出願番号】特願 2021-144049(P2021-144049)
【国際特許分類】

C 1 1 D 7/34(2006.01)

10

C 1 1 D 7/04(2006.01)

C 1 1 D 7/22(2006.01)

H 0 1 L 21/304(2006.01)

C 2 3 G 1/18(2006.01)

C 2 3 G 1/20(2006.01)

【F I】

C 1 1 D 7/34

C 1 1 D 7/04

C 1 1 D 7/22

H 0 1 L 21/304 6 4 7 Z

20

H 0 1 L 21/304 6 4 7 A

C 2 3 G 1/18

C 2 3 G 1/20

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 28 日(2023.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アルカリ剤(成分 A)、チオグリセロール(成分 B)、有機溶媒(成分 C)及び水(成分 D)を含み、

pH が 6 以上 10 以下である、フラックス用洗浄剤組成物。

【請求項 2】

成分 B の分子量が、150 以下である、請求項 1 に記載のフラックス用洗浄剤組成物。

【請求項 3】

成分 B の含有量が、0.5 質量%以上 25 質量%以下である、請求項 1 又は 2 に記載のフラックス用洗浄剤組成物。

40

【請求項 4】

成分 D の含有量が、4 質量%以上 50 質量%以下である、請求項 1 から 3 のいずれかに記載のフラックス用洗浄剤組成物。

【請求項 5】

フラックスを有する被洗浄物を、請求項 1 から 4 のいずれかに記載のフラックス用洗浄剤組成物で洗浄する洗浄工程を含み、

フラックスを有する被洗浄物は、基板と金属部材との間又は基板上の 2 つの金属部材の間にフラックスを含むスラリーを塗布した後、200 以上に加熱する工程を経た基板である、洗浄方法。

50

【請求項 6】

金属部材の金属が銅を含む、請求項 5 に記載の洗浄方法。

【請求項 7】

被洗浄物の基板表面及び / 又は金属部材は、金属が加熱により酸化した部分を含む、請求項 5 又は 6 に記載の洗浄方法。

【請求項 8】

前記洗浄工程は、前記被洗浄物を 80 以下の前記フラックス用洗浄剤組成物に浸漬する工程である、請求項 5 から 7 のいずれかに記載の洗浄方法。

【請求項 9】

前記スラリーは、金属粒子をさらに含む、請求項 5 から 8 のいずれかに記載の洗浄方法 10
。

20

30

40

50